



ユネスコ世界ジオパーク



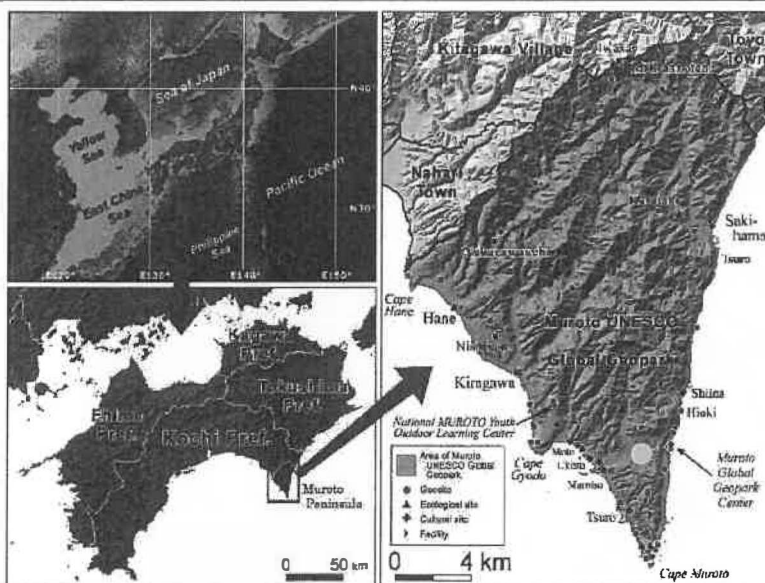
ユネスコ世界ジオパークとは、国際的に地質学的意義のあるサイトや景観が保護、教育、持続可能な開発で一体となった考え方により管理された、飛び地になっていない単一の地理的エリアです。ユネスコ世界ジオパークは、地球資源を持続的に利用したり、気候変動の影響を緩和したり、自然災害の影響を軽減するといった、社会が直面している重要課題への意識と理解を高めるため、その地域のあらゆる自然・文化遺産と関連した地質遺産を利用しています。歴史と現代車秋の中で、地域の地質遺産の重要性について意識を高めることにより、ユネスコ世界ジオ推進課パークは地域住民に自分たちの地域に対する誇りを与え、地域と地域住民の一体感を強めます。地域の地質資源が保護されている一方で、ジオツーリズムを通じて新たな収入源が生まれるので、革新的な地元企業や新しい雇用、地質の高い研修コースの機会が活発に作り出されます。

日本語版テキスト：https://geopark.jp/geopark/pamphlet/pdf/uggp_panf.pdf
「ユネスコ世界ジオパーク パンフレット」でググってもOK

英語版テキスト：<https://qr.paps.jp/t7hb>



室戸ユネスコ世界ジオパーク



室戸ユネスコ世界ジオパーク



地球の動き（プレートの動き）とそれが要因となり起こる地震による、大地の隆起

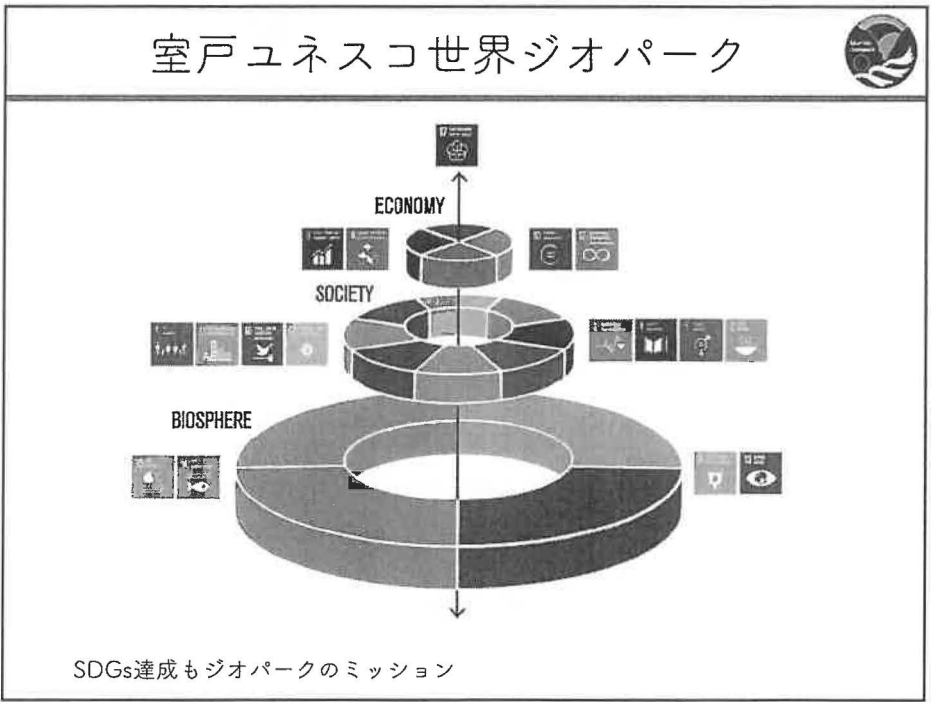
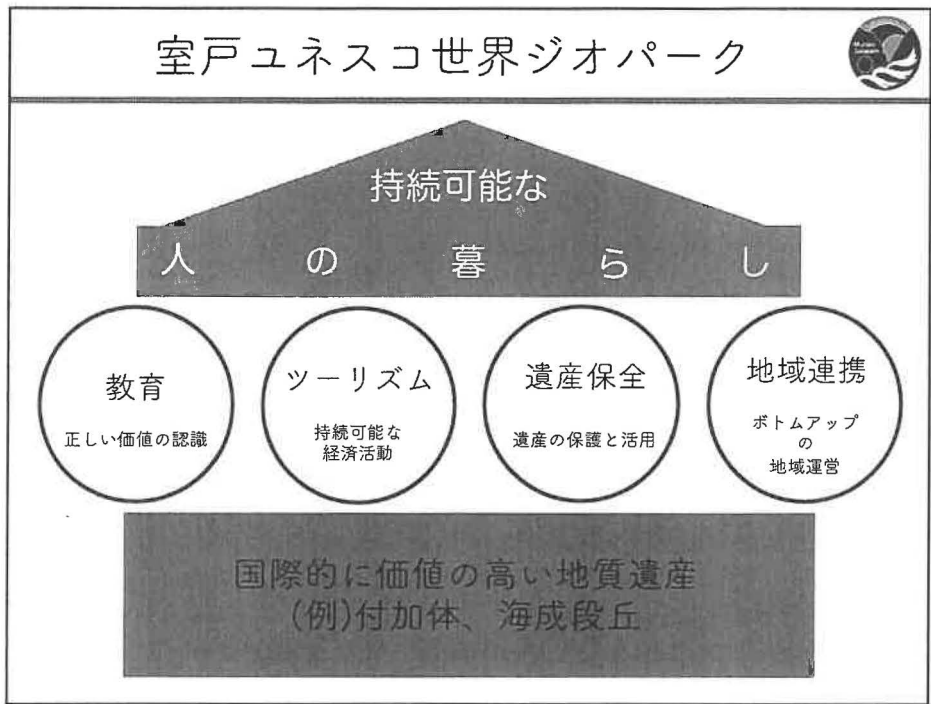


室戸ユネスコ世界ジオパーク



海水準変動と大地の隆起が作りだした地形





これまでの連携体制



×



- 2011年度 ジオパーク学開始
- 2014年度 室戸高校観光甲子園出場 日本観光振興協会会長賞
室戸学（産業社会と人間）
- 2015年度 室戸高校生×ジオカフェ 「青春市」開催
- 2016年度 室戸世界ジオパークセンター特別展・「深海博」にて室戸高校生展示作成
- 2018年度 「三津海岸のシロウリガイ」を室戸市天然記念物登録
JpGU出場（2チーム・3名）

青春市について詳しくは下記↓

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jgeography/125/6/125_125.813/_pdf

これまでの連携体制



×



- 文科省事業開始
UNESCO再審査対応
JGN全国大会出場・発表
他地域高校生と交流
- 2019年度 ランカウイUGGp訪問
糸魚川UGGp訪問
ランカウイUGGp職員訪問・学校紹介
JpGU出場（防災）
室戸ジオパーク推進協議会から生徒への補助金制度確立
JGN全国大会出場・発表（オンライン）
島原半島UGGp、隠岐UGGpオンライン交流（口頭発表含む）
- 2020年度 三好ジオパーク構想訪問
ランカウイとオンライン交流
グローバルハイスクール出場 金賞・銀賞受賞
JpGU出場（深層水）
アースデー・国際防災の日にランカウイUGGp高校生と交流
島原半島UGGp訪問
JGN全国大会出場・発表（オンライン）
- 2021年度 防災探究活動のための補助金獲得（四国クリエイト協会）
防災探究活動との幅広い連携（1日宿泊体験・防災士試験等）
グローバルハイスクール出場 金賞・銀賞受賞
ユネスコ世界ジオパーク高校生国際交流会開催（8地域・9校の参加）

これまでの連携体制



×



JpGU出場（福祉×ジオパーク）

防災探究活動グループ 室戸ジオパーク推進協議会及び高知県連合婦人会防災研修会にて発表

アースデー(4/28)に合わせて、タイ・Satun UGGpの高校とオンライン交流授業

日本ジオパーク委員会 UNESCO審査事前準備調査対応

2022年度 JGN全国大会（石川県・白山手取川）出場・発表

国際防災の日（10/13）に合わせて、地震発生プロセスの英語資料を作成→ランカウイと交流

第7回アジア太平洋地域シンポジウム（APGNシンポジウム・タイ Satun UGGp）参加・発表

ランカウイUGGp訪問（ランカウイ2校、サトゥン1校、室戸高校の合計4校での交流事業）

北海道洞爺湖UGGp訪問（学校間交流）

これまでの連携体制



×



防災探究活動の推進とサポート



これまでの連携体制



×



室戸市防災対策課に依頼した防災無線の使用、防災倉庫の見学



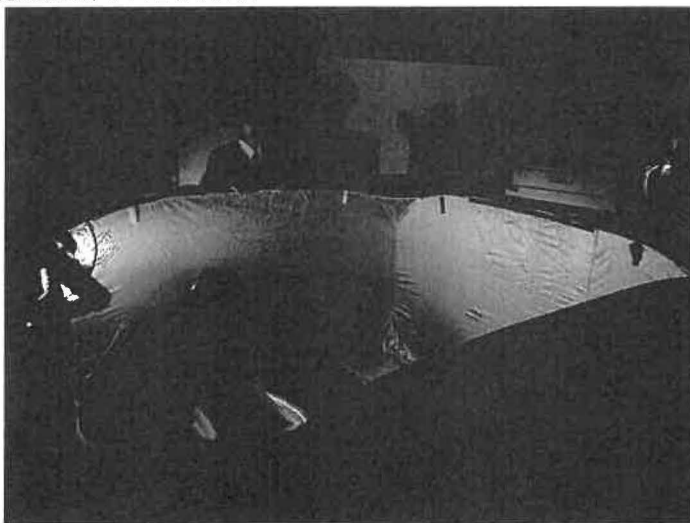
これまでの連携体制



×



室戸市指定避難所での1日宿泊体験



これまでの連携体制



防災探究活動の成果発表@高知県連合婦人会防災研修会にて



これまでの連携体制



アジア太平洋地域ジオパークネットワークシンポジウムにて口頭発表



これまでの連携体制



×



オンラインを活用した国内外の交流も実施



これまでの連携体制



×



ランカウイUGGp（マレーシア）：室戸ジオパークの姉妹ジオパーク
2022年度はタイ・サトゥンUGGpの高校生も参加し、交流



これまでの連携体制



日本ジオパークネットワーク全国大会@白山手取川（石川県）







これまでの連携



日本地球惑星科学連合大会（JpGU@千葉）奨励賞受賞



| これまでの連携体制  ×  | |
|--|---|
| 室戸高校 | 室戸ジオパーク |
| やりたいこと・やれるかもしれないこと・困っていること | |
| 授業時間を活用した学習時間の確保 (英語、数学、産社、ジオ学等) | 企画実施までの雑務・調整 (予算・支払関係・企画案・関係各所調整) →地域住民・行政関係者・他地域ジオとつなぐ |
| 生徒指導・サポート | |
| 専門員が指導やサポートとして参加できる時間を確保する | 放課後や休日の学習サポート(授業外) →授業時間を使えるのが理想 |
| 各種情報発信内容確認・許可 外部からの協力依頼に対する体制作り (担当教員・担当生徒の選定等) | 成果発表の場の創出、プレスリリース、 JGN及びGGNを活用した大規模な情報発信 APGN報告書に掲載 https://qr.paps.jp/RoQnz GGNニュースレターに掲載 https://qr.paps.jp/kz08 香川大学グローバル人材育成シンポジウムで講演 https://www.kagawa-u.ac.jp/files/3816/3057/1790/-1.pdf |
| 生徒の学習時間も考慮して2ヶ月以上前から、 かつすでに探究活動の素地がある生徒らを選定するのが望ましい(＋生徒のやる気)。 | 高知県立大学から防災探究活動に関わる協力依頼(2022年度) JGNから高校生交流事業に関する協力依頼(2022年度) |

| 2023年度の予定  ×  | |
|--|--------------------------|
| 4月22日～28日 | APGNウィーク(アースデー) |
| 5月21日 | JpGU出場(現地) ※おそらく出場なし? |
| 夏(7月～8月) | UNESCO再審査 |
| 10月6日 | 国際ジオ多様性の日 |
| 10月13日 | 国際防災の日 |
| 10月28日～29日 | JGN全国大会(関東) ※予算確定 |
| 11月 | ランカウイ(マレーシア)訪問 ※予算確定 |
| 年度末 | 国内もしくはアジア圏UGGp地域訪問 ※予算確保 |